

2026年（令和8年）9月18日

公立大学法人福山市立大学理事長選考会議

公立大学法人福山市立大学最終理事長候補者について

公立大学法人福山市立大学では、現理事長の任期が2027年（令和9年）3月31日をもって満了となることから、公立大学法人福山市立大学理事長選考会議において、次期理事長の候補となる最終理事長候補者を次のとおり選考しました。

なお、公立大学法人福山市立大学の理事長は、公立大学法人福山市立大学定款第10条第2項の規定により、福山市立大学の学長となります。

1 最終理事長候補者

（1）名前

川上 伸昭（かわかみ のぶあき）

（2）年齢

70歳（2027年（令和9年）4月1日現在）

（3）現在の職

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 NanoTerasu 総括事務局長

（4）略歴

別紙のとおり

2 任期

2027年（令和9年）4月1日から2031年（令和13年）3月31日まで（4年間）

3 選考理由

理事長選考会議は、公立大学法人福山市立大学理事長選考規程第3条に規定する理事長候補者の資格（人格が高潔で、学識が優れ、かつ、法人を適切かつ効果的に管理運営することができる能力及び大学における教育研究活動を適切かつ効果的に運営することができる能力を有する）及び本会議が定めた「次期理事長兼学長に求められる資質・能力」に基づき、所信表明書

及び履歴書の審査に加え、面接を実施した。

川上伸昭氏は、公立大学法人宮城大学において理事長兼学長を2期6年間務め、公立大学の運営に豊富な経験と実績を有している。同大学に着任した年は、学部制から学群・学類制への移行を柱とする大学改革の初年度に当たり、全学的な協力体制のもと、新カリキュラムへの移行や地域と連携した教育を着実に推進された。さらに、新型コロナウイルス感染症の拡大下においても、地域貢献活動や自治体・地域企業との連携事業を継続・推進された。これらの功績が高く評価され、退任後には宮城大学名誉学長の称号を授与されている。

加えて、一般社団法人公立大学協会副会長として、「公立大学ガバナンス・コード」の策定を主導するなど、公立大学全体の発展にも大きく貢献された。

所信表明において、福山市をはじめ、企業・団体、市民など地域社会の多様な主体との意思疎通を図ることが学長の重要な役割であるとの考えを示され、多様なステークホルダーから理解と協力を得るための調整力や交渉力を備えていると判断できる。

現在、大学を取り巻く環境は大きく変化しており、学生数減少への対応に加え、AI・デジタル技術を活用した教育研究改革や、持続可能な経営を支えるガバナンス強化が求められている。本学においても、次年度から第2期中期計画期間が始まり、情報工学部の開設、新たなカリキュラムへの移行、認証評価の受審など重要な課題が控えている。こうした状況の中、川上伸昭氏は、大学運営を担う理事長兼学長としてのガバナンスの強化を喫緊の課題として挙げ、教職員をはじめとする多様な構成員の意見に耳を傾けながら、大学全体の力を引き出ししていく考えを示され、第2期中期計画の推進に向け、本学を力強く牽引することが期待できる。

以上のことから、川上伸昭氏は、理事長選考規程第3条に規定する理事長候補者の資格を満たすとともに、「次期理事長兼学長に求められる資質・能力」を十分に備えた人物であると認められる。また、本学の歴史的経緯や特性を理解し、法人及び大学の最高責任者として必要な経験、見識及びリーダーシップを有する人物であると判断し、最終理事長候補者として最適任であると決定したものである。

4 任命

理事長の任命は、公立大学法人福山市立大学定款第10条第1項の規定により、本法人の申出に基づいて、福山市長が行います。また、同条第2項の規定により、理事長は福山市立大学の学長となります。

5 選考の経過

2026年（令和8年）

4月13日	第1回理事長選考会議
4月15日	理事長選考開始に係る公告
7月1日～7月13日	理事長候補者の推薦の受付
7月21日～7月27日	理事長候補者提出書類（所信表明書及び履歴書）の受付
7月29日	第2回理事長選考会議（書類審査等）
8月17日	第3回理事長選考会議
9月1日	第4回理事長選考会議（所信表明演説会・面接）
9月1日～9月4日	意向調査投票期間
9月14日	第5回理事長選考会議（最終審査等）

(別紙)

略 歴

【職歴】

1981 年(昭和 56 年)4 月	科学技術庁入庁(振興局国際課)
2009 年(平成 21 年)7 月	文部科学省大臣官房審議官(生涯学習政策局担当)
2010 年(平成 22 年)7 月	独立行政法人科学技術振興機構理事(総括担当)
2014 年(平成 26 年)1 月	文部科学省科学技術・学術政策局長
2016 年(平成 28 年)3 月	文部科学省科学技術・学術政策研究所所長
2017 年(平成 29 年)4 月	公立大学法人宮城大学理事長兼学長(2 期 6 年間)
2023 年(令和 5 年)8 月	宮城大学名誉学長称号授与
2024 年(令和 6 年)7 月	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 NanoTerasu 総括事務局長

【教育研究業績】

2000 年(平成 12 年)6 月	「平成 11 年度科学技術の振興に関する年次報告」(平成 12 年版科学技術白書)執筆担当課長
2008 年(平成 20 年)7 月	「教育振興基本計画」(第 1 期)策定担当課長
2014 年(平成 26 年)8 月	「研究活動の不正行為への対応のガイドライン」(文部科学 大臣決定)担当局長
2015 年(平成 27 年)1 月	「我が国の中長期を展望した科学技術イノベーション政策 について(中間とりまとめ)」(科学技術・学術審議会)第 5 期科学技術基本計画への提言(重点政策:「超サイバー社 会」への適切な対応)担当局長
2015 年(平成 27 年)6 月	「国立研究開発法人放射線医学総合研究所法の一部を改正 する法律」(現 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機 構法)制定 担当局長

【賞罰】

なし